

就職氷河期世代支援事業について【令和4年度事業報告】

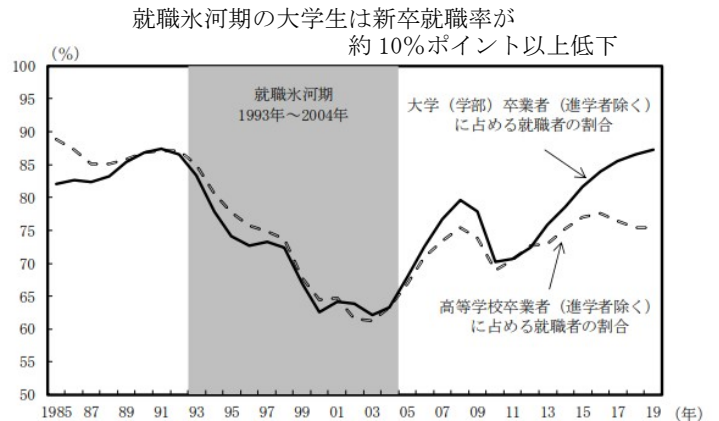
産業部産業振興課（雇用・労政担当）

1 目的

いわゆる就職氷河期世代（平成5年から平成16年に学校卒業期を迎えた世代）の不安定就労者については、概して能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない。また、就労について度重なる失敗により自分に自信が持てない、正社員就職を諦めているなど、様々な課題を抱えている者が多い。

こうした不安定就労者一人一人の課題に対応するため、静岡労働局、地域若者サポートステーション（サポステ）、地域経済団体等と連携を深めながら、国の「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」を活用し支援に取り組む。

日本経済 2019-2020 より新卒就職率の推移



2 背景

- 令和元年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2019」において「就職氷河期世代支援プログラム」を取りまとめ、政府として3年間(R2～R4)の集中的な支援に取り組む方針が打ち出された。
- プログラムの中では具体的な施策として、きめ細かな伴走支援型の就職相談定着支援のため、ハローワークに専門窓口を設置し、担当者によるチーム支援を実施、サポステの支援対象年齢の拡大(40歳未満から50歳未満)等が定められた。
- 浜松市は従来から、静岡労働局やサポステと連携して就労支援を行っており、本件支援プログラムについては、特に広報活動を強化し、当該対象者に広く事業周知を行うとともに、就労支援事業の拡充を図り、就職氷河期世代への就労支援を行う。

3 令和4年度 事業内容及び実績

(1) 就職氷河期世代就職相談会 2回開催

開催日	①令和4年7月8日(金) 11:00～19:00 ②令和4年10月29日(土) 10:00～18:00
場所	①イオンモール浜松志都呂 イオンホール ②プレ葉ウォーク浜北 プレ葉ホール
内容	キャリアコンサルタントによる個別就労相談を実施。他の就労支援機関での支援が必要な場合は適した機関を紹介。
実績	相談者 ①31名 ②33名 合計 64名
	就職者 6名(正規3名 非正規3名)

【考慮した点】

- 総合ショッピングモールを会場とすることで、参加者が気軽に足を運べるよう配慮し、参加人数の増加を図った。

(R3は浜北文化センター、クリエート浜松で実施し、参加者数47名)

(2) 地域若者サポートステーションはままつ事業拡充 職員配置増員（専門職員 2 人）

相談件数	520 件
利用登録者数	51 名
就業者数等	就職 21 名（正規 6 名、非正規 15 名）

【考慮した点】

- ・長期にわたるひきこもり等から生じる心理面への丁寧かつ柔軟なサポートや、過去の就労経歴をふまえたキャリアプランの策定、本人だけでなくその家族を含めた支援等、就職氷河期世代特有の課題に対応するため、臨床心理士等の資格をもつ専門職員を 2 名配置した。

(3) 浜松市就職氷河期世代インターンシップ等支援事業

開催日	①第 1 期 昼：令和 4 年 7 月 27 日～（6 日間） 夜：7 月 20 日～（10 日間） ②第 2 期 昼：令和 4 年 11 月 11 日～（6 日間） 夜：11 月 8 日～（10 日間）
場所	①昼：アイミティ浜松 夜：東海道シグマ浜松支店（アクトタワー3 階） ②昼、夜：東海道シグマ浜松支店（アクトタワー3 階）
内容	就職氷河期世代の就労希望者及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けた就職氷河期世代の就労希望者を対象に、座学研修及び職場実習のコーディネート等を実施するとともに、対象者を就職に繋げるため、浜松市内に勤務地がある企業等の求人を開拓することにより、対象者の正規雇用化を促進する。
実績	参加者数(補助金対象者以外を含む) ①昼 21 名 夜 4 名 ②昼 9 名 夜 7 名 合計 41 名 就職者 27 名（正規 17 名 非正規 7 名 自営等 2 名）

【考慮した点】

(補助金の交付)

- ・本事業に参加するには、座学研修に 1 日 3 時間又は 6 時間、職場実習については最大 5 時間と設定しており、移動時間及び休憩時間等を考慮すると半日から 1 日間拘束される。
- ・非正規労働者が本事業へ参加するためには、現在の職場において休暇を取得する必要があるため、一時的な収入減に直結する可能性があるため、参加を躊躇する対象者がいることが推測される。
- ・無業の者については、金銭を得ることで動機づけを図り、多くの支援対象者の参加を促す。
- ・以上により、本事業への参加による無収入もしくは収入減に対する懸念を払拭し、また、参加意欲を高めるためのインセンティブとするため、補助金を支給した。

【座学研修】

・就職氷河期世代の職業能力の向上に資する座学研修を実施した。

〈昼コース・座学研修カリキュラム〉 ＊参考

	時間	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目
1	9:00~9:10	開講式	HR	HR	HR	HR	HR
	9:10~10:30	オリエンテーション グループワーク	ビジネスマナー基本① 身だしなみ・言葉遣い	ITリテラシー	プレゼンテーションの 基本	ビジネスマインド	コンプライアンス 職場のリスク管理
	9:30~10:40	休憩					
2	10:40~12:10	就職活動の基本	ビジネスマナー基本② 電話応対	オンラインツール活用	職場の コミュニケーション	面接演習	問題解決能力 ビジネスゲーム
	12:10~13:00	昼食					
3	13:00~14:30	キャリアプラン 研修計画・目標設定	就職セミナー 企業研究	仕事で使える WORD	ビジネスマナー基本③ ビジネス文書作成	企業交流会 職業人セミナー	ストレスマネジメント
	14:30~14:40	休憩					
4	14:40~16:10	自己分析 経験の棚卸	就職セミナー 業界・職種研究	仕事で使える EXCEL	応募書類作成	受入れ企業による 企業説明会	実習・就活計画作成
	16:10~	個別支援時間／個別面談・マッチング・就職支援（応募書類、面接等）※企業見学					

(4) 就職氷河期世代支援プロモーション事業

(デジタル広報配信期間 6月22日～10月31日 132日間)

デジタルマーケティングを活用したプロモーションによって、浜松市就職氷河期世代支援事業の周知を図った。

「浜松市就職・転職ナビJOBはま！」内にある「浜松市就職氷河期世代の就職応援ページ」への誘導数 20,841 回

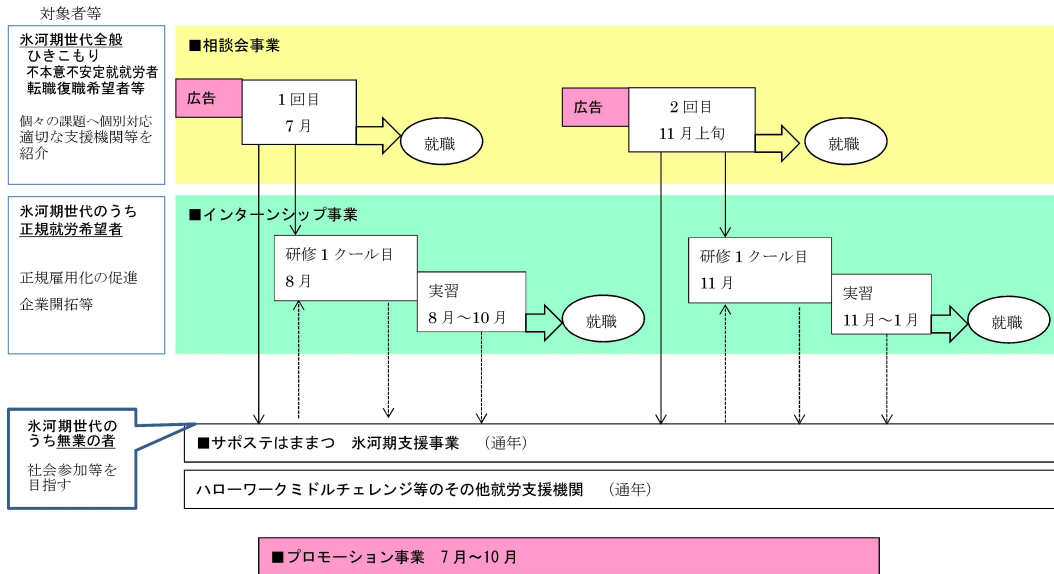
【考慮した点】

- ・Google 広告、リスティング広告、SNS 広告 (Facebook、インスタグラム、Twitter)、動画広告 (YouTube) 等、様々な方法でプロモーションを展開した。
- ・広告配信に使用する素材は、本事業の目的に沿った形で複数の訴求を用意し、配信中は、運用効率を最大化させるべく隔週にて運用改善を図った。

配信イメージ



(5) 令和4年度就職氷河期世代支援事業体系図



【考慮した点】

- ・支援が効果的に行えるよう、各事業が連携できるような日程とした。

4 地域就職氷河期世代支援加速化交付金 重要業績評価指標 (KPI 実績) : 内閣府へ報告済

	指標名	目標値	実績
KPI①	地域若者サポートステーション就職氷河期世代相談受付件数	960 件	520 件
KPI②	地域若者サポートステーション就職氷河期世代就職者割合	35%	41%
KPI③	就職相談会参加者数	60 名	64 名
KPI④	インターンシップ等支援事業正規就職者割合	50%	62%

・ K P I 実績に対する評価について

KPI①

継続的な支援が必要な場合が多いが、途中リタイアしてしまう相談者があったため、目標値に達しなかった。次年度については、相談者個々の課題に沿った支援体制を整え、継続的な支援を実施したい。

KPI②

月 1 回、ハローワークと連携会議を行い相互の状況について就労先の選択肢が広がり本人が希望する就労に繋がりがやすくなったため、就職者割合が目標値を上回った。

KPI③

令和3年度までは、相談会会場を協働センター(公民館)等としていたが、令和4年度はショッピングモール内の貸会議室とした。相談会の参加者より「人ごみに紛れて気楽に参加できた」、「買い物ついでに相談会があることを知り立ち寄った」等の声があり、定員以上の参加があった。

KPI④

座学研修では、参加者同士のコミュニケーションをとることもできたと好評であった。参加者と職場実習の受入れ企業等とのマッチングを丁寧に実施した結果、就職者割合が目標値を上回った。